

2025年12月24日



小田急電鉄株式会社
(コード番号 9007 東証プライム)

CDP 2025「気候変動」分野で最高評価「Aリスト」に初選定

小田急電鉄株式会社（本社：東京都新宿区 社長：鈴木 滋）は、国際的な非営利団体であるCDPによる評価において、「気候変動」分野で企業の透明性と質の高い取り組み等が認められ、初めて最高評価「Aリスト」企業に選定されました。

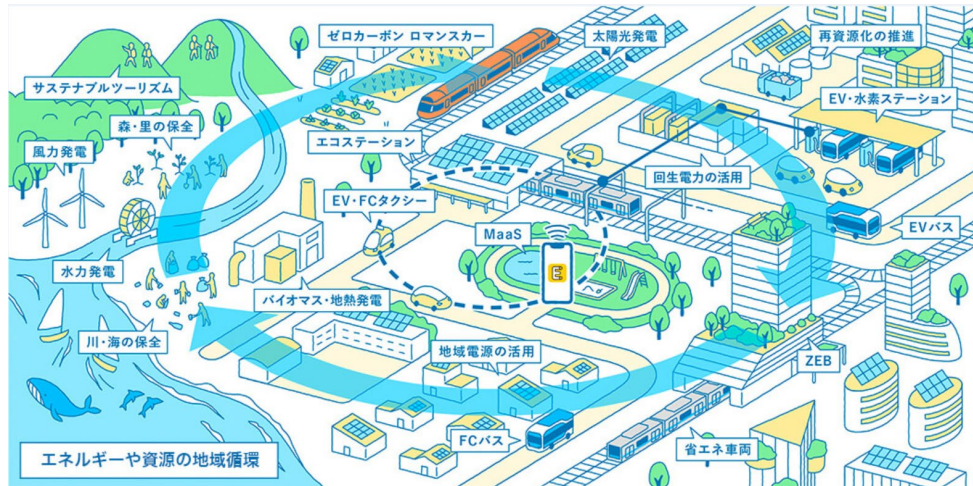


CDPは2000年に英国で設立された、企業や自治体の環境情報開示を推進する世界的なシステムを運営する非営利団体です。温室効果ガス削減、水資源や森林保護等の取り組みを先導し、包括的な情報開示や環境ガバナンスの成熟度、環境レジリエンスへの進捗が顕著な企業を「Aリスト」として選定しています。

当社は、当社グループのマテリアリティ（重要テーマ）の一つに「環境（カーボンニュートラル）」を掲げており、2021年9月に「小田急グループ カーボンニュートラル2050」を策定しました。環境ビジョンと環境長期目標のもと、環境戦略「脱炭素社会の実現」「資源循環社会の実現」「自然保全と活用」を柱に、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みを強化しています。

特に2030年度目標である「CO₂排出量50%削減（2013年度比）」については、グループ交通網の100%再エネ化により2024年度実績で早期達成しました。

今後も、ステークホルダーと連携を深め、事業活動を通じて環境課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献するとともに、透明性の高い情報開示を継続してまいります。



小田急グループがめざす2050年度の社会

※ 小田急グループ カーボンニュートラル2050

環境ビジョン、環境長期目標および環境戦略

<https://www.odakyu.jp/sustainability/carbon-neutral/>

※ TCFD提言に基づく情報開示

<https://www.odakyu.jp/sustainability/carbon-neutral/tcfd/>

※ TNFD提言に基づく情報開示

<https://www.odakyu.jp/sustainability/carbon-neutral/tnfd/>

(参考) 当社が選定されている代表的なESG投資指数

- ・ FTSE Blossom Japan Sector Relative Index
- ・ MSCI 日本株 ESG セレクト・リーダーズ指数
- ・ MSCI 日本株女性活躍指数 (WIN)
- ・ S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数
- ・ SOMPO サステナビリティ・インデックス

<https://www.odakyu.jp/ir/evaluation/>

以 上